

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北堀 智
全体計画	平成28年度 ~			経費区分	-			内線	3742		
事務事業名	12416 議場音響・映像システム整備事業										
所 属	400100 議会議務局・議会議務局										
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	010101 議会費・議会費・議会費									
	事業	040000 議場音響・映像システム整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
設置後35年余り経過し、音響機器も老朽化が進んでおり円滑な議会運営を行うため支障も生じているため、新たな設備整備を行った。継続して使用するため、賃借を行う。						議場の音響機器を改修し、併せて新たな映像機器と会議システムを導入し、継続して機器を使用することにより、円滑な議会運営ができ、インターネット配信もより鮮明に放送でき市民に開かれた議会の推進が図れる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
	入札準備から入札、業者決定、議会閉会中に機器設置工事を完了し9月定例会から新設備で定例会を実施。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
新たな映像機器と会議システムの運用により、円滑な議事運営をを図る。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		2,001	3,001
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,001	3,001
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	721.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,443.8	721.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,444.8	3,722.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,001	音響・映像システムのリース代（保守含む）H28.8～H29.3の8ヵ月分

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,001	音響・映像システムのリース代（保守含む）12ヵ月分

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	議会会議録作成のため、正確で確実な記録として、またインターネット録画配信は議会の見える化のために必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	記録用録音として、また音声・映像をより鮮明に市民のみなさまに届けるために有効。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	記録用録音、質問時間管理の一元管理が可能となり、効率的な議会運営が図られる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

インターネットによる音声・映像をより鮮明に市民のみなさまに配信されるようになり、記録用録音、質問時間管理の一元管理など事務改善も図られたが、市民の皆さんからのご意見を引き続きお聞きしていきたい。

